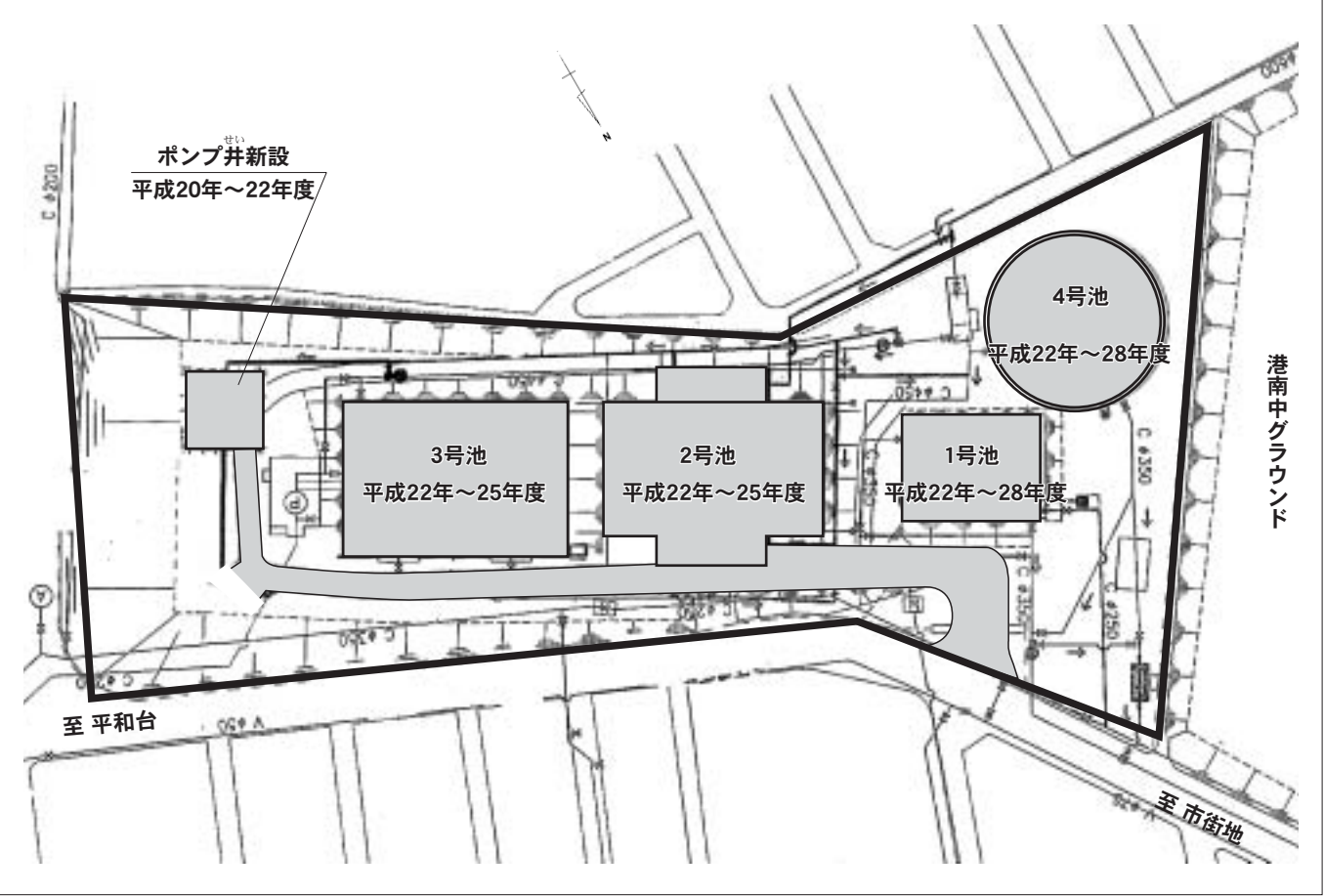


配水整備基本計画



施設名	規模	工事内容	施工年度	既存施設の建設年度
管理棟、ポンプ井	150㎡	新築	平成20～22年度	昭和47年度
1号池	1,460㎡	改修	平成25～28年度	昭和3年度
2号池	2,170㎡	改築	平成22～25年度	昭和30年度
3号池	2,150㎡	改修	平成22～25年度	昭和38年度
4号池	2,550㎡	改修	平成25～28年度	昭和57年度
高区配水池	1,820㎡	改修	平成22～25年度	昭和37・48年度
平和台貯水池	300㎡	増築	平成22～25年度	—

配水施設整備事業に関するお問い合わせは

市・上下水道事業課

☎ 42・5151

運営基盤強化の取組

留萌市水道事業では、現在及び将来の需要者（市民）に対し、安心して飲める水を安定的に適切な負担で供給するため「新・財政健全化計画」との整合性を図りつつ、経営・技術の両面に渡り、運営基盤の強化を図ります。

さらに効率的な事務処理体制を進め、職員給与費や事務経費の削減に努め、水道料金の収納体制を強化し、市民に負担の公平を保ちます。

また、コンビニ収納により、納入しやすい収納体制を図るなど、様々な経営改革に取り組んでいます。

これからも、水道事業に対する市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

安全安心な水道水をお届けするために
配水施設整備事業



留萌市では、昭和3年に水道施設が完成し、道内6番目の上水道としての水道水の供給を開始して以来、皆さんに毎日、安全で安心な水道水をお届けしています。

しかし、完成から80年以上が経ち、全ての施設・設備で老朽化が進んでいます。

配水場が十分に機能しなくなると、安全で安心な水道水を安定してお届けするということ、水道事業の大事な使命が果たせなくなることから、配水施設整備基本計画を策定し、平成20年度から28年度まで、沖見配水場の整備を進めています。

沖見配水場は「水道の蛇口をひねると水が出る」という、日常ではあたり前のように使っている水道水を、皆さんの家庭などに毎日お届けしている留萌市の水がめです。

生活に必ず必要な水道水を安定してお届けし続けるために、老朽化が進んだ施設の整備に取り組んでいます。



沖見配水場には管理棟のほか4つの貯水池と、見晴台にある高区配水池、平和台にある平和台貯水池に送水するポンプ設備があります。

配水整備基本計画では、それぞれの施設の状況にあつた具体的な対策や老朽化に伴う緊急性を考慮し、3期9年に分けた整備計画としています。

年度まで、沖見配水場の整備を進めています。

沖見配水場の整備方針



現在の管理棟内にある中央監視盤と機械電気設備、高区配水池などに送水するためのポンプ設備の老朽化が著しく、緊急性が高いことから、平成20年度から22年度にかけて第1期工事として進めています。

今年度は、管理棟を併用したポンプ井施設建設と平成22年度の中央監視盤、機械電気設備工事に着手する準備をしています。

第2期工事としては、平成22年度から25年度までに2号池、3号池、高区配水池、平和台貯水池の改修を計画しており、第3期工事は平成25年度から28年度に1号池、4号池の改修を計画しています。

整備基本計画の概要